

平成26年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立新南小学校
作成日	平成 27年 3月9日

1 教育目標

豊かな心を持ち、主体的に生きる子どもを育成する

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	体力の向上
重点目標に対する意見	・学校教育に関する情報をできる範囲で公開することは良いこと。	・道徳や人権についてしっかり教え社会性を身に付けさせるのは学校の大きな役割。	・学習意欲を育て学び方や基礎基本を身に付けさせてほしい。	・本当に外で遊ばなくなって体力が落ちている。向上のための方策を実行していってほしい。
取組の状況に対する意見	HPの内容、表現が充実している。交流給食や集会を通して地域のお年寄りへの感謝の気持ちは伝えることができている。運動会、集会、人権教育講演会等、地域の方に参加を呼びかけて多くの方に参加してもらっている。	読書タイムやうちどく、ボランティアによる読み聞かせなど、読書指導の取り組みが充実している。あいさつや掃除の指導の取り組みも成果が出始めている。	学力の成果が現れるには長期の取り組みが必要。楽しく興味を持って勉強を続けていく工夫は大切。国語や言語活動は、全ての基礎なので重視しているのは良いこと。	子どもが運動する機会や場所が減っているなか、学校で体力づくりをめざすのは意義のあることである。周りに広い公園や気軽に運動する場所がない地域なので、マラソンや水泳など今後も力を入れて取り組んでほしい。
検証結果に対する意見	HPは1年間コンスタントに更新できていた。写真や動画が多いので学校に行けない保護者もありがたい。交流給食やふれあい食事会、感謝と実りの集会、ミシン学習のサポートなどは地域の方々と楽しく交流でき、子ども達の様子も知ることができた。	学校では読書をしているが家ではゲームにのめり込んで、ゲームのことしかしゃべらないのが気になる。会話も一言で済ましてしまっただialogにならない。学校では、あいさつや掃除の指導を熱心にし、学校が楽しい所になっているようだが、家庭ももっと会話が楽しくなるように努力しなければならない。	考えを書くことは大切なことだけどなかなか難しいもの。引き続き書くことをしっかり練習させてほしい。読書を熱心に指導してくれているのは良いこと。ただ、家ではほとんど読んでいない。どうしていったらよいか。	マラソン大会やジョギング、なわとび検定などは子どもの刺激になってよい。水泳指導もしっかりやってくれている。
改善方法に向けての意見	地域との交流は今後もしっかり続けていってほしい。学校に協力できる人材探しには協力を惜しまない。HPや学校だよりは、さらに充実してもらい多くの地域の方に学校の姿を知らせてほしい。メール連絡システムは大変よいので来年度も続け、充実させていってほしい。	体験学習では、ぜひ和歌山城の語り部を利用してほしい。ふるさとの歴史を勉強してほしい。子ども達が友だちや家族と豊かなコミュニケーションがとれるように、子どもへの指導とともに保護者への啓発もしていってほしい。	俳句のコンクールなど競い合うことで意欲がわくこともあるので、刺激を与え合う仕組みやグループでの勉強も活発にしてほしい。以前のノーゲーム・テレビデーは、親も意識するのでぜひまた取り組んでほしい。	ジョギングや縄跳び大会など子どもの運動へのやる気を引き出す新しい取り組みは、どんどん進めてほしい。

mata

3 その他のご意見

北出島への水道踏切が危険。歩道の整備とともに児童の渡り方の指導もさらにしていってほしい。